

お金 の 話

家庭における財政管理の指針

マービン・J・アシュトン長老



お金の話

家庭における財政管理の指針

マービン・J・アシュトン長老

発行：末日聖徒イエス・キリスト教会
ユタ州ソルトレーク・シティー

© 2006 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有
印刷：日本
原題：*One for the Money*

英語版承認：2006年1月 日本語版承認：2006年1月

本冊子は、1975年4月、総大会の福祉部会において、十二使徒評議員会会員であったマービン・J・アシュトン長老が述べた説教を基に編集したものです。スペンサー・W・キンボール大管長は前述の同じ集会の中で立ち上がり、アシュトン長老のメッセージを支持して次のように語りました。

「この集會に来てからいろいろなことを考えていました。アシュトン兄弟が話したことを支持します。もしわたしが新しく家庭を築こうとしているなら、アシュトン兄弟が説明した12のポイントのコピーを入手し、それらを自ら厳密に守り、子供たちや家族、自分が出会うすべての人に教えたいと思います。これは基本的なことです。子供のときから生涯ずっと、使徒たちが『負債を解決し、負債を避けなさい』と言っているのを聞いてきました。何年間か銀行に勤めていたので、この重要な勧告を無視したためにひどい苦境に陥っている人々をたくさん見てきました。



マービン・J・アシュトン長老

アシュトン兄弟が語った……家庭における財政管理に関するすべてのことに賛成します。すべての家族は、予算を立てて生活すべきです。わたしたちは教会や職場で予算なしに一日たりとも過ごそうと思わないでしょう。どれくらいの収入があるかをおおよそ予想しなければなりませんし、どれくらいの支出があるかについては絶対に知っておかねばなりません。教会が収めた一つの成功は、使徒たちが教会の収支状況を注意深く監督していて、持っていないお金を浪費しないようにしていることです。」



時折、試練の波風が
わたしたちの行く手を阻むことがあります。
財政的な事柄についてもそうです。
しかし、福音の律法はわたしたちを
正しい道に引き戻し、
安定した状態へと導いてくれます。

マービン・J・アシュトン長老

最近、わたしは、あるすてきな若いカップルと話す機会に恵まれました。そのカップルは結婚式をその週に控えていました。二人の目は、もうすぐ訪れる大切な式を待ち望む気持ちと、互いの愛がこれからも続くという確信で輝いていました。二人はともに大学で教育を受け、良い家庭で育ち、教養を積む経験に恵まれていました。二人の人柄や今後の計画、そして将来の可能性について知ることができたのは、うれしい経験でした。二人の交際は永遠の基盤に基づき、これまで順調に進んでいるように思えました。

しかし面接の際、わたしの質問に対する二人の反応の中で一つだけ気にかかることがありました。わたしは懸念している事柄を二人に伝え、提案することにより、間近に迫った結婚生活について彼らにもう一度よく考えてほしいと思いました。

わたしは次のような質問をしました。「結婚したら、財政はどなたが管理されるのですか。」彼女はこう答えました。「たぶん彼だと思えます。」そして彼はこう答えたのです。「それについてはまだ話し合ったことがありません。」この答えにわたしは驚き、ショックを受けました。

結婚生活と家族に関する事柄のうち、金銭管理、財政管理はどれほど重要なことかと尋ねられたら、わたしは「とりわけ大切です」と答えるでしょう。アメリカ弁護士協会(American Bar Association)は、離婚の89パーセントが金銭に関する口論と非難に端を発していると指摘しています。また財政面での衝突は離婚原因の75パーセントに達すると推定している機関もあります。複数の専門家は、5分の4の家族が金銭面で深刻な問題を抱えていると指摘しています。

ここで、わたしは何にも増して次の事実を強調したいと思います。それは、結婚生活におけるこのような悲劇は、単に金銭そのものの不足ではなく、個々の誤った財政管理に起因しているという事実です。これから結婚する女性は、相手の男性の月収に目を向けるのではなく、手もとに残る金額をその男性(そして彼女自身)がどれだけ賢明に管理できるかに注目することによって恩恵を受けられるでしょう。金銭管理は金銭を得るための営みよりも優先

アメリカ
弁護士協会は、
離婚の
89パーセントが
金銭に関する
口論と非難に
端を発していると
指摘しています。

すべきものです。これから結婚する男性は、愛する婚約者が自分の求める資質をすべて兼ね備えているように思える人であっても、視点を変えて彼女が金銭を管理する能力を備えているか確かめるとよいでしょう。

家庭において、夫と妻の間の金銭管理は基本的に共同で行い、方針を定めたり、決断したりする際には二人で行います。子供が生まれ、物事ある程度理解できる年齢に達したら、彼らも限られた範囲で金銭の管理を共同で行うようにすべきです。金銭面の悩みや口論が生じると、家庭内で平安、充足感、愛、安心といった気持ちを感じることはできません。これから結婚を控えている人も、結婚して久しい人も、金銭管理能力を高め収入の範囲内で生活するために、今こそ現状を見直し、必要に応じて悔い改めるべき時です。

こんにち
今日の世にあって豊かで幸福な生活を送りたいと望むなら、適切な金銭管理を行い、収入の範囲内で生活することが不可欠です。そのため、個人と家庭の財政管理能力を改善するうえでの提案を幾つかさせていただきたいと思います。次の12項目は、わたしたち一人一人が目標を果たすうえで必ず役に立つことと思います。



1. 正直に什分の一じゅうぶんを納める

末日聖徒のどの家庭においても、財政管理の成功は正直な什分の一を納めることから始まります。什分の一と断食献金を第一の義務として納め、その後ほかの支払いを行うと、この大切な福音の原則に対する自らの決意が強まり、誤った財政管理をしてしまう可能性は少なくなります。神は、わたしたちの納める什分の一を毎月調べられるわけではありませんが、すぐに喜んで什分の一を納めることにより、わたしたちも子供たちも、身近にいる人々に対し、さらに正直になることができます。

2. 金銭に管理される前に、 金銭を管理することを学ぶ

結婚を控えている女性は、よくこのようなことを考えます。「彼はお金をよく管理できるかしら。収入の範囲内で生活する方法を知っているかしら。」このように考えることは、「彼はたくさんお金を稼げるかしら」といった疑問よりもはるかに大切なものです。財政面での心の平安は、稼ぐ金額ではなく、支出する金額に左右されます。

夫婦は皆、金銭的な事柄に対して、絶えず態度と取り組み方を新たにすることがあります。こうすることにより、夫婦間の協力体制は完全で永遠のものとなります。家庭の財政管理は、夫と妻が互いに心を開き、信頼するという姿勢をもって、共同で行うべきものです。夫婦のどちらかが金銭管理の面で力と権威を持つようになると、結婚生活において不平等が生じ、不適切なものとなります。逆に、一方が家庭の財政管理から自分の意志でまったく離れてしまうと、それは必要な責任を放棄したことになります。

財政面での
心の平安は、
稼ぐ金額では
なく、
支出する
金額に
左右されます。

3. 金銭的な事柄で自己訓練と自制を学ぶ

金銭的な事柄について自己訓練と自制の仕方を学ぶのは、会計学を学ぶよりはるかに大切なことです。若いカップルの皆さんが理解しなければならないのは、自分がこれまで親に頼った生活で身に付いた金銭の使い方と生活の様式を、結婚してからも維持していくことはできないということです。結婚した夫婦は、自らの消費の衝動を抑え、^{ほんりよ}伴侶や家族の必要を優先して考えるとき、真の成長を遂げることができます。金銭管理の技術は、愛と協力の精神の下に、日々継続して学んでいくことが大切です。ある落胆した夫が

結婚した夫婦は、
自らの消費の
衝動を抑え、
伴侶や家族の必要を
優先して考えるとき、
真の成長を
遂げることが
できます。

次のように言いました。「人生ではお金がものを言うと思うけれど、妻がお金を手にすると、お金が言うことは『さようなら』だけだ。」妻のことを世界一金銭管理能力のない人と呼ぶ夫に対し、わたしはこのように言うでしょう。「鏡をのぞいて御覧なさい。世界一愚かな教師がそこに映っていますよ。」

わたしたちは、気ままで自己中心的、かつ物質主義の社会で生活しています。様々な広告が、クレジットや分割払いがどれほど容易に利用できるかを^{けんでん}喧伝し、若い消費者を誘い込んでいます。おもしろいことに、借りたお金をすべて返済し、負債のない状態にいることのすばらしさについて、また、返済にどれほどの期間を要し、どれだけ困難が伴うか、特に、必ず付随する利子がどんどんかさんでいくことを前面に出した広告など一つもありません。



負債返済カレンダー

	クレジットカード	家具	歯医者	病院	自動車ローン
3月	11,000	7,000	5,000	7,500	23,500
4月	11,000	7,000	5,000	7,500	23,500
5月	11,000	7,000	5,000	7,500	23,500
6月	11,000	7,000	5,000	7,500	23,500
7月		18,000	5,000	7,500	23,500
8月		18,000	5,000	7,500	23,500
9月		18,000	5,000	7,500	23,500
10月			23,000	7,500	23,500
11月			23,000	7,500	23,500
12月				30,500	23,500
1月				30,500	23,500
2月					54,000
3月					

「負債返済カレンダー」は、不必要な負債を減らしたり、なくしたりするうえで役立ちます。1枚の紙に欄を幾つか設けます。いちばん左側の欄は、翌月から始めて順番に月を記入していきます。隣の欄のいちばん上には、最初に負債を支払いたい支払い先の名称を書きます。この支払い先は、利子の割合が最も高い負債か、最も早く返済を完了できるものがよいでしょう。その支払先に対する、返済完了までの月々の返済額を上図のように列挙します。次の欄のいちばん上には、2番目に返済したい支払い先の名称を記します。最初の支払い先への返済が完了したら、翌月からはその返済金額を次の支払い先に加算します。（上記の例の家族は、まずクレジットカードの月々の返済を終わらせました。それから11,000円を家具の7,000円の支払いに足して、月々の支払い額を18,000円に変えました。）このプロセスを、すべての返済がすべて完了するまで続けます。

4. 予算を組む

どの家族も、毎月使える金額と、家族の予算の各項目でそれぞれ支出する金額をあらかじめ決めておかなければなりません。家計簿をつけると、家庭の財政管理とその記録が容易になります。記録の際はそれぞれの支出を慎重に記載し、銀行通帳の内容と毎月照合します。

住宅の購入や教育費、そのほかどうしても欠かせない投資以外、負債とそれに伴う財政的な負担は避けてください。耐久消費財や休暇の際の支出は現金で支払ってください。月々の分割払いを避け、クレジットカードは

緊急時に

すぐ引き出せる

貯蓄として、

家族のすべての

必要を

最低3か月

賄える金額を

蓄えておくべきです。

よく注意して使用してください。これらは原則として、購買者の便宜を図り、身分を証明するものであり、むやみやたらに使用するものではありません。複数のクレジットカードを利用すると、過度な負債の危険が増すのは明白です。新製品を購入するに十分な蓄えがないときは、中古品を購入するようにしてください。また、品質の劣った物を購入すると、たいていの場合、結局は非常に高価な出費を招きます。

収入の一定の割合を貯金や投資に回すようにしてください。緊急時にすぐ引き出せる貯蓄として、家族のすべての必要を最低3か月賄える金額を蓄えておくべきです。すべての末日聖徒の家族は、正直に遅滞なく納税申告を行わなければなりません。

さて、これから申し上げることをよく聞いてください。中には気分を害される方もいるでしょうが、それを承知のうえで申し上げます。債権者を無視したり、彼らを避けたりする末日聖徒は、そのような態度を取る人が味わう精神的な抑圧を受けることでしょう。これは末日聖徒にあるまじきことです。非常に特殊で避けられない場合を除き、破産は避けるべきです。そして破産を宣告する場合も、祈りをもってよく考えた後、法律および財政の専門家の指示に従って行うべきです。

20 ____ 年の予算

収入	計画	実際の金額
賃金／給料（税引き後）		
その他の収入		
収入総額		
支出	計画	実際の金額
教会への献金		
貯蓄		
食費		
住宅ローンまたは家賃		
公共料金		
交通費		
負債の支払い		
保険		
医療費		
衣料費		
その他		
支出総額		
収入から支出を差し引いた金額		

- 予算は、あなたが支出について計画し、評価するうえで役立ちます。
- 支払いのスケジュールに従い、一定期間（1週間分、2週間分、1か月分など）の予算を組んでください。
- 収支の均衡を保つよう努め、支出額が収入額を下回るようにしてください。

5. 早くから家族に、働いて賃金を得ることの大切さを教える

「あなたは顔に汗してパンを食べ」という勧告は、現代にも通用することです。また、これこそ個人の福祉の基本です。両親が子供たちにできる最も大きな贈り物の一つは、労働について教えることです。子供に与える月々の小遣いについては、長年にわたって多くのことが言われてきました。この小遣いに関する意見や勧告は非常に様々です。わたしは子供時代、「伝統を重んじる学校」でしつけられました。子供は、奉仕や雑用を行うことにより、必要なお金を自分で得る必要があると思います。また、努力して勉強した成果やそのほかのふさわしい目標を達成したことと結びつけて、子供に金銭的な褒美を与えてもかまいません。家には金のなる木があり、1週間または1か月に1度その木からお金が落ちてくる、という考えを植え付けられた子供は不幸だと思います。

みんなが納得した

目的のために

一緒に

貯金することにより、

家族の一致が

生まれます。

6. 理解する能力に合わせて子供たちにお金の使い方を教える

適切なしつけを受け、個人的に経験を積んだ子供は、自分の所持金にかかわる財政上の決断について責任を負い、思慮を欠いた出費に伴う結果を引き受けるべきです。親が子供にただ「貯金をしなさい」と言ってもそれは無意味なことで

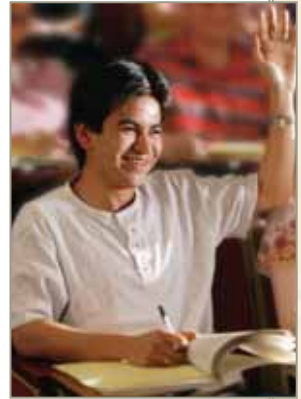
す。しかし、「伝道に出るために、自転車や人形の家、また嫁入り道具や車を買うために貯金しなさい」と言えば、子供は貯金する理由がよく分かります。みんなが納得した目的のために一緒に貯金することにより、家族の一致が生まれます。わたしの家では、ある一つの大切な計画のために娘に貯金させることにしました。そして娘が一定の金額まで貯金できたときに、わたしたちはあらかじめ決めておいた金額を補ってあげたのです。子供たちが望ましい行動を取れるよう動機づけ、促すうえで、報酬には大きな力があります。

7. 家族の一人一人が家族全体の福利に力を貸すように教える

子供は成長したら、家庭の経済状態、予算、投資目的、家庭内での自分の責任について理解すべきです。家族の目標や楽しみを達成するために、あまり費用がかからず、楽しく、子供たちに理解できるような計画を立てるよう励ましてください。伝道中の息子、娘または兄弟、姉妹のために、毎月1度家庭の夕べで、家族がそれぞれに得たお金を伝道資金に入れるという目標を持つことができます。これを行わない家族は、金銭面でも霊的にもすばらしい祝福を逃していることとなります。家族全員で、伝道中の家族の一員に毎月送金するようになると、すぐに、その宣教師が「自分たちの」宣教師だと実感できるようになり、自分の家族には伝道に出ている者がいるという誇りと、自分はその家族の一員であるという誇りを持つようになるのです。

8. 継続して教育を受ける

正式な教育をできるだけ多く修めてください。職業訓練学校への通学もこの中に含まれます。これは投資する価値のあることです。それによって見込まれる生涯賃金を考えると、教育の継続にかかる費用や時間は非常に価値あるものとなるでしょう。夜学や通信教育のクラスを利用するのもよいでしょう。特殊な技能を身に付ければ、就職の機会が早く巡ってくるでしょう。家や車の修理はとても役立ち、修理費で浮いたお金を貯蓄に回すこともできます。人によっては、思いがけず失業してしまうことがあります。失業した場合、たとえ臨時の仕事でも、見つければそれに就くべきで、「自分に合った職」が与えられるまで待つべきではありません。



9. 自分の家を持つよう努める

自分の家を持つのは消費ではなく、投資に値します。この場合、自分の収入で維持できる家を購入する必要があります。家を住みやすくまた美観をそそるよういつも手入れをするとよいでしょう。こうすれば、その家を売るときに利益を得て、家族の必要に合ったさらに良い家を購入することができます。

10. 適切な保険をかける

十分な医療、自動車、住宅の保険、および適切な生命保険に加入することが最も大切です。病気、事故、死亡に伴う費用はばく大なため、保険をかけていない家族はその後長年にわたり財政的な負担を強いられます。

11. 外的な力が家庭の財政や投資に及ぼす影響を理解する

平均的な賃金上昇率はおおむね、インフレ率と肩を並べ続けています。したがって給料が増えたからといって購買力が増えたわけではないので、給料の上昇を、過度に消費したり、負債を増す口実にすべきではありません。緊急時に引き出せる貯蓄以外にも、家族で賢明な投資を計画して実施し、財政の安全を確保し、将来起こり得る病気や退職の場合に備えてください。リスクの高い投資や短期間で高額な利益を約束するような投資は避けた方が無難です。



12. 適切な食糧貯蔵および緊急時に備えるプログラムを行う

基本的な食糧貯蔵と緊急時の必需品の備えを長期にわたって組織的に、秩序立てて行ってください。この目的のために負債を負うようなことがあってはなりません。業者が販売促進のために計画した、賢明とは言えない食糧貯蔵には乗せられないようくれぐれも注意してください。毎年菜園に種をまき、収穫すると、食費を含め、多くの点で家族に益をもたらします。健康の改善のため、栄養価の高い食事を取り、適度な運動を行い、それによって多額の医療費の負担を避けてください。

➤ れらの提案はごく一部にすぎず、すべてを網羅したわけではありませ
ん。むしろ、これらの事柄を真剣になって考えていただくために申し
上げたのです。わたしたちは賢明な金銭管理に関するこれらの基本的な
指針を知り、よく認識する必要があります。

個人の福祉を正しく行うためには、金銭の管理が重要な要素であることを、神はわたしたちに気づかせてくださっています。わたしたちは引き続き、収入の範囲内で生活するようにならなければなりません。また、財政的な問題に頭を悩ますことのないよう、常に努めなければなりません。時間と利子がわたしたちの敵ではなく味方となって働くとき、それは財政面で幸福な日々となります。

末日聖徒は金銭を、永遠の幸福を得るための一手段として活用する必要があります。不注意で放漫な金遣い^{ほうまん}をすると、財政的にかんじがらめの生活を余儀なくされることとなります。個人や家族が金銭管理に心を砕かずにいられる余裕などありません。わたしたちが主に近くあって主の戒めに従って生活するならば、これらに関して主は天の窓を開いてくださるでしょう。



負債返済カレンダー

	負債1	負債2	負債3	負債4	負債5
月					

「負債返済カレンダー」は、不必要な負債を減らしたり、なくしたりするうえで役立ちます。1枚の紙に欄を幾つか設けます。いちばん左側の欄は、翌月から始めて順番に月を記入していきます。隣の欄のいちばん上には、最初に負債を支払いたい支払い先の名称を書きます。この支払い先は、利子の割合が最も高い負債か、最も早く返済を完了できるものがよいでしょう。その支払先に対する、返済完了までの月々の返済額を列举します。次の欄のいちばん上には、2番目に返済したい支払い先の名称を記します。最初の支払い先への返済が完了したら、翌月からはその返済金額を次の支払い先に加算します。このプロセスを、すべての返済がすべて完了するまで続けます。

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

